

ICレコーダー ICD-70専用 パソコン接続キット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書では、Windows用パソコン接続キット ICKIT-W1のWav Linkソフトウェアのインストールと使いかたについて説明しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。なお、最新の情報がフロッピーディスクのreadme.txtファイルに記載されていますので、併せてお読みください。

ICKIT-W1

はじめに

この取扱説明書では、ソニーICレコーダーICD-70のWindows用パソコン接続キットの使いかたと付属のソフトウェアのインストールと使いかたについて説明します。始める前に、ICD-70の取扱説明書もご覧ください。

本ソフトウェアの最新情報について

このソフトウェアの最新の情報については、付属のフロッピーディスクの中の [readme.txt] ファイルを、Windowsに付属のメモ帳などで開いてお読みください。

■ ご注意

- このパソコン接続キットはWindows用です。Macintoshではお使いになれません。
- このキットに付属の接続ケーブルは、ICレコーダーICD-70専用です。他のICレコーダーとの接続にはお使いになれません。

ユーザー登録について

弊社のユーザーサポートをお受けいただくために、「ご愛用者登録カード」に必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Program ©1998 Sony Corporation
Documentation ©1998 Sony Corporation

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Copyright ©1995 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

Portion Copyright ©1995 Microsoft Corporation

- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、Rマークは明記していません。

目次

ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約書	4
付属品を確かめる	5
必要なシステム構成	5
本ソフトウェアでできること	6
操作の流れ	6

準備

Wav Linkソフトウェアをインストールする	7
ICレコーダーをパソコンに接続する	12

操作

Wav Linkソフトウェアを起動する	13
用件の一覧を見る	16
用件を並び替える(ソートする)	18
用件をwavファイルとしてパソコンに保存する	20
パソコンに保存した用件の活用	28

その他

故障かな?	29
保証書とアフターサービス	30
索引	31

■ ご注意

- 本ソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindows95またはWindows3.1の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 操作説明のイラストは、Windows95の場合のものを使用しています。

▶ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約書

お買い上げいただきましたWindows用パソコン接続キットICKIT-W1に同梱されている、ソフトウェアプログラムおよびその使用説明書(以下併せて本ソフトウェア)は、ソニー株式会社(以下弊社)がその著作権を有しております。本ソフトウェアご使用前に以下の内容をご確認いただき、ご同意いただけましたら、同封の登録カードに必要事項をご記入の上、弊社までご送付ください。使用者登録をされることにより、弊社は、以下の条件にてその使用を許諾させていただき、サポートを提供させていただきます。

第1条 弊社は、登録カードに記載されたお客様(以下お客様)に対し、登録カードに記載された住所(但し日本国内に限ります)において、本ソフトウェアを、本機器を使用する目的で特定1台のコンピュータ機器上で使用する、非独占的な権利を許諾いたします。なお、お客様は、あらかじめ弊社に書面にて通知をすることにより、登録住所を変更することができます。

第2条 ①本ソフトウェアに物理的な欠陥(フロッピーディスクの破損など)があった場合は、お客様の本ソフトウェア購入日から90日間に限り、弊社は、無償で良品と交換させていただきます。
②弊社はお客様に対して、お客様の本ソフトウェア購入日から1年間は、無償でソフトウェアプログラムのバグを修正させていただきます。
③弊社は、本ソフトウェアに関し、本条①および②に規定される以外のいかなる保証も行わないものとします。

第3条 ①お客様は、バックアップを保有する目的で1部複製する場合を除き、本ソフトウェアを複製しないものとします。
②お客様は、本ソフトウェアのソフトウェアプログラムにつき、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコードの解析を行わないものとします。

第4条 お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を、第三者に販売、賃貸、またはその他の処分を行わないものとします。また、本契約書でお客様に許諾される権利を第三者に譲渡したり、再許諾することもできないものとします。

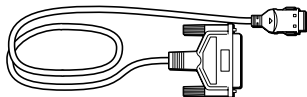
第5条 お客様が本ソフトウェアを使用したため、お客様または第三者に発生した損害に関して、弊社はそのいかなる責任も負わないものとします。

第6条 お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、弊社は本契約を解除し、それによって被った損害の賠償をお客様に請求することができるものとします。その際、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに中止し、本ソフトウェアをその複製物も含めて、速やかに弊社に返却するものとします。

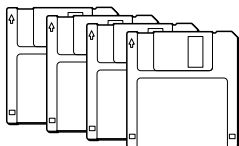
付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。付属品の中に不足しているものがあるときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

- 接続ケーブル(1本)



- フロッピーディスク(4枚)



- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)
- ご愛用者登録カード(1部)
- ソニーご相談窓口のご案内(1部)

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU：80486以上
- メモリ：1Mバイト以上
- ハードディスクの空き容量：10Mバイト以上(音声の扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。)
- ドライブ：FDドライブ
- 通信ポート：パラレルポート(プリンターポート)*
- サウンドボード：PCM, 8kHzサンプリング、8ビット、モノラルのwavファイルが再生できるもの
- OS：Microsoft Windows 95 またはWindows 3.1(日本語版)

*機種によって通信速度が異なります。

本ソフトウェアでできること

- ICレコーダーICD-70に録音した音声をパソコンに取り込みます。
- 取り込んだ用件をパソコン上で一覧表示できます。(16ページ)
一覧表示は録音日時、重要マーク、アラーム設定などでソートして並べ替えることもできます。(18ページ)
- 用件をwavファイルとしてパソコンのハードディスクなどに保存できます。(20ページ)

操作の流れ

1 準備：パソコンにWav Linkソフトウェアをインストールする

- 「Wav Linkソフトウェアをインストールする」(7ページ)

2 ICレコーダーに録音した用件をパソコンに取り込む

- 「ICレコーダーをパソコンに接続する」(12ページ)
- 「Wav Linkソフトウェアを起動する」(13ページ)
- 「用件の一覧を見る」(16ページ)

3 wavファイルとしてパソコンに保存する

- 「用件をwavファイルとしてパソコンに保存する」(20ページ)

4 保存した用件を活用する

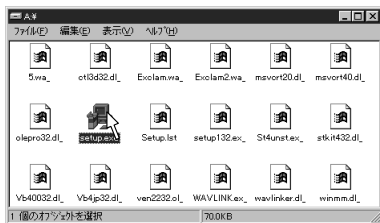
- 「パソコンに保存した用件の活用」(28ページ)

Wav Linkソフトウェアをインストールする

Wav Linkソフトウェアをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

付属のフロッピーディスクには「Windows95用」と「Windows3.1用」があります。お使いのパソコンのOSに合ったものをお使いください。

- 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
- 2 付属のフロッピーディスク①をフロッピーディスクドライブに挿入する。
- 3 Windows95の場合：
[マイコンピュータ] [A: ¥ 3.5インチFD]を順に開く。



Windows3.1の場合：

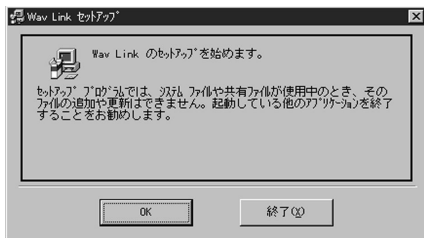
[ファイルマネジャー] [a]ドライブを順に開く。

- 4 [setup.exe]をダブルクリックする。

(次ページへ続く)


Wav Linkソフトウェアをインストールする(つづき)

[Wav Link セットアップ] ダイアログボックスが表示されます。



5 [OK]をクリックする。

他のアプリケーションを終了したい場合は、まず[終了]ボタンをクリックし、他のアプリケーションを終了してから、手順3からやり直してください。

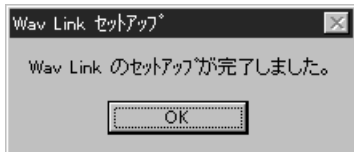
6  ボタンをクリックする。



このボタンをクリックする。

インストールが始まります。

- 7 「2枚目のフロッピーディスクを挿入してください。」と表示されたら、2枚目のフロッピーディスクと交換する。インストールが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。



- 8 [OK]をクリックする。
これでインストールは終了しました。

(次ページへ続く)

Wav Linkソフトウェアをインストールする(つづき)

アンインストールするには

このソフトウェアが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。

Windows95の場合：

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] [コントロールパネル] を順に選ぶ。
コントロールパネルが開きます。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] が表示されます。



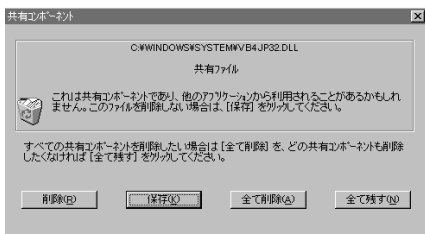
- 3 [セットアップと削除] の下欄のアプリケーション一覧から [Wav Link] を選び、[追加と削除] をクリックする。
アンインストーラが起動されます。

4 画面に従って操作する。

■ ご注意

このソフトウェアを一度インストールしたあと、別のドライブまたはフォルダに移動させる場合は、アンインストールしてから再度インストールを行ってください。ファイルを移動しただけでは、ソフトウェアは動作しなくなります。

次のダイアログボックスが表示されたら



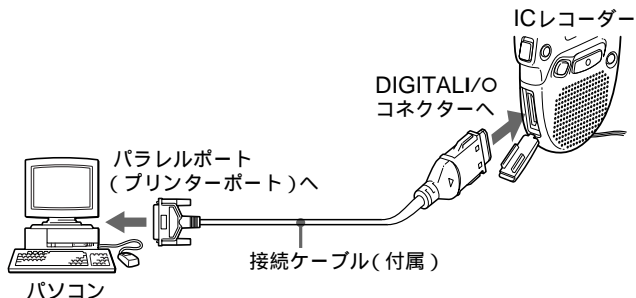
[全て残す] を選ぶことをおすすめします。

Windows3.1の場合

[ファイルマネジャー] [Wav Link] フォルダの順に開き、音声ファイル以外のファイルを削除してください。

ICレコーダーをパソコンに接続する

付属の接続ケーブルを使って、ICレコーダーのDIGITAL I/Oコネクターとパソコンの平行ポート(プリンターポート)を接続します。



■ ご注意

- ICレコーダーに接続ケーブルをつないでいる間は、ICレコーダー本体のボタン、スイッチは操作できません。(VOLつまみのみ操作できます。)
- ICレコーダー本体をパソコンに接続したままの状態でも長時間放置すると、ICレコーダーの電池が消耗してしまいます。ご使用後は必ずICレコーダーから接続ケーブルをはずしてください。

Wav Linkソフトウェアを起動する

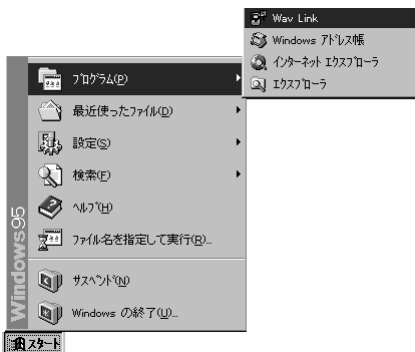
■ ご注意

Wav Linkソフトウェアを使う前にパソコンとICレコーダーの接続をしてください(12ページ)。

1 Windowsを起動する。

2 Windows95の場合：

[スタート]ボタンをクリックし、[スタート]メニューから[プログラム]、[Wav Link]の順に選ぶ。



Windows3.1の場合：

[プログラムマネージャー]、[Wav Link]を順に開き、[Wav Link]アイコンを選ぶ。

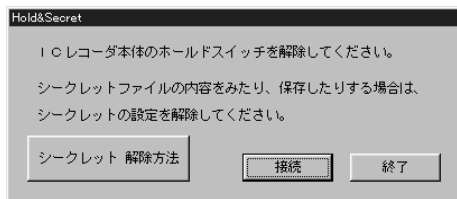
(次ページへ続く)

Wav Linkソフトウェアを起動する(つづき)

Wav Linkソフトウェアが起動します。



起動すると、次のダイアログボックスが表示されます。



3 ICレコーダー本体のHOLDスイッチを確認する。 ホールドがかかっている場合は解除する。

■ ご注意

ホールドは必ず解除してください。解除せずにパソコンで用件を読み込むと、正しく動作しないことがあります。

- 4 シークレットを設定している場合は、ICレコーダーから接続ケーブルをはずし、シークレットを解除する。解除したら、接続ケーブルをつなぎ直し、次の手順に進む。
- シークレットファイル内の用件の一覧表示や保存をしない場合は不要です。
- 解除の方法は、[シークレット解除方法]をクリックして画面に表示させるか、ICレコーダー本体の取扱説明書をご覧ください。

- 5 [接続]をクリックする。
ICレコーダーが接続(データ通信)されます。



接続が完了すると、用件の一覧表示画面(16ページ)が表示されません。

■ ご注意

- 「未接続」が点滅したときは、ケーブルの接続を確認してください。
- 「シークレットの設定が解除されていません。」と表示されたときは、ケーブルをはずしてシークレットを解除してから[接続]をクリックするか、シークレットファイルの用件の表示、保存をしない場合はそのまま[接続]をクリックしてください。

用件の一覧を見る

用件一覧表示画面の各部の名前と働き

例：ACTION（アクション）ファイルに録音した用件の一覧

用件番号

ファイルアイコン
一覧表示したいファイル
(ACTION, SCHEDULE, MEMO-1, MEMO-2, SECRET)を
選びます。

用件一覧表示
ファイルアイコンで選ん
だファイルの内容が一覧
表示されます。

ソートボタン
一覧表示の順番を並べ
替えます。(18ページ)

録音日時

録音時間

重要マーク

アラーム再生

	録音日時	録音時間	重要マーク	アラーム再生
01	98/03/07 03:07	00:02 (SP)	***	03/07 03:07
02	97/12/25 19:30	00:20 (SP)	**	
03	98/06/15 00:21	00:20 (SP)	**	
04	98/04/22 16:05	00:11 (SP)	*	
05	98/07/07 19:17	00:23 (LP)	*	07/10 15:25
06	98/05/07 10:16	00:11 (SP)		水曜 09:30
07	98/07/07 19:18	00:11 (LP)		
08	98/07/07 19:20	00:12 (LP)		
09	98/07/09 08:11	00:16 (SP)		毎日 17:30
10	98/02/20 15:05	00:09 (SP)		

用件の変更、追加をした場合には
再接続を行ってください。

1件保存

1ファイル保存

全ファイル保存

終了

再接続

■ (停止) ボタン

▶ (再生) ボタン

保存ボタン
用件をハードディスクなどに保存します。(20ページ)

終了ボタン
Wav Linkソフトウェアを終了します。

再接続ボタン
データを読み込み直す場合に使います。

「用件がありません。」と表示されたときは
選んだファイルには用件が録音されていません。

「シークレットが設定されているので読み出せません。」と表示されたときは
ICレコーダー本体でシークレットが設定されています。
シークレットファイルの内容を表示させたい場合は、接続ケーブルをはずし
て本体でシークレットを解除し、ケーブルを接続し直して[再接続]をクリ
ックしてください。

用件を聞くには

聞きたい用件にカーソルを合わせてダブルクリックするか、[▶]をクリ
ックする。

ICレコーダーのスピーカーから音声が聞こえます。ICレコーダー本体の
VOLつまみで音量を調節してください。

再生を止めるには

[■]をクリックする。

用件を並べ替える(ソートする)

各ファイルごとに一覧表示される用件の順番を並べ替える(ソートする)ことができます。[録音日時][重要マーク] または[アラーム再生]をクリックします。

録音日時

録音日時の古い用件から順に並びます。

録音日時が記録されていない用件は最後に並びます。

録音日時	録音時間	重要マーク	アラーム再生
02 97/12/25 19:30	00:20(SP)	**	
10 98/02/20 15:05	00:09(SP)		
01 98/03/07 03:07	00:02(SP)	***	03/07 03:07
04 98/04/22 16:05	00:11(SP)	*	
11 98/04/22 16:05	00:10(SP)		
06 98/05/07 10:16	00:11(SP)		水曜 09:30
03 98/06/15 00:21	00:20(SP)	**	
05 98/07/07 19:17	00:23(LP)	*	07/10 15:25
07 98/07/07 19:18	00:11(LP)		
08 98/07/07 19:20	00:12(LP)		

重要マーク

重要マークの多い順(*** ** * 重要マークなし)に並びます。

(ICレコーダー本体の用件番号の順番と同じです。)

重要マークが同じ数の用件は、古い順に並びます。

録音日時	録音時間	重要マーク	アラーム再生
01 98/03/07 03:07	00:02(SP)	***	03/07 03:07
02 97/12/25 19:30	00:20(SP)	**	
03 98/06/15 00:21	00:20(SP)	**	
04 98/04/22 16:05	00:11(SP)	*	
05 98/07/07 19:17	00:23(LP)	*	07/10 15:25
06 98/05/07 10:16	00:11(SP)		水曜 09:30
07 98/07/07 19:18	00:11(LP)		
08 98/07/07 19:20	00:12(LP)		
09 98/07/09 08:11	00:16(SP)		毎日 17:30
10 98/02/20 15:05	00:09(SP)		

■ ご注意

重要マークをつけた用件がない場合でも、[重要マーク]をクリックするとICレコーダー本体の用件番号の順に並び替わります。

アラーム再生

アラームが設定されているものから順に並びます。

月日(DATE)指定 週1回の設定(月曜 火曜...土曜 日曜)

毎日(EVERYDAY) アラーム設定なし

	録音日時	録音時間	重要マーク	アラーム再生
01	98/03/07 03:07	00:02 (SP)	***	03/07 03:07
05	98/07/07 19:17	00:23 (LP)	*	07/10 15:25
06	98/05/07 10:16	00:11 (SP)		水曜 09:30
09	98/07/09 08:11	00:16 (SP)		毎日 17:30
02	97/12/25 19:30	00:20 (SP)	**	
03	98/06/15 00:21	00:20 (SP)	**	
04	98/04/22 16:05	00:11 (SP)	*	
07	98/07/07 19:18	00:11 (LP)		
08	98/07/07 19:20	00:12 (LP)		
10	98/02/20 15:05	00:09 (SP)		

用件をwavファイルとしてパソコンに保存する

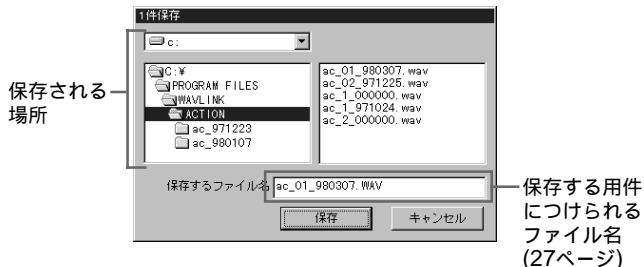
用件はパソコンのハードディスクなどにwav形式(PCM 8kHzサンプリング、8ビット、モノラル)で保存できます。保存には「1件保存」、「1ファイル保存」、「全ファイル保存」の3通りあります。

一件保存

- 1 保存したい用件を選び、[1件保存]をクリックする。



次のダイアログボックスが表示されます。



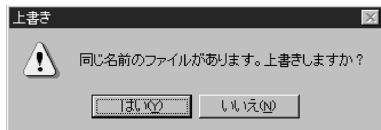
保存する場所、ファイル名を変更する場合は、ここで変更してください。

2 [保存]をクリックする。



すでに同じ名前の用件が保存されているときは次のダイアログボックスが表示されます。

上書きするときは[はい]を、ファイル名を変更するときは[いいえ]をクリックしてください。



(次ページへ続く)

用件をwavファイルとしてパソコンに保存する(つづき)

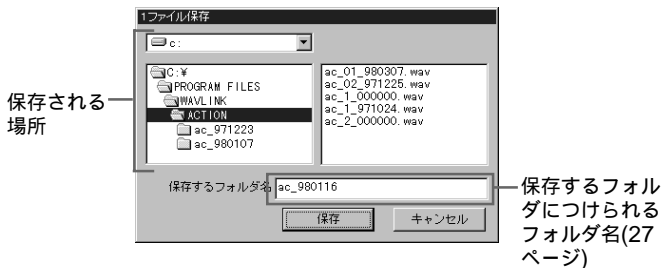
1 ファイル保存

ACTION, SCHEDULE, MEMO-1, MEMO-2, またはSECRETファイル内の用件を一度に1ファイルごと一つのフォルダとして保存できます。

1 保存したいファイルを選び、[1ファイル保存]をクリックする。



次のダイアログボックスが表示されます。



保存する場所、フォルダ名(26ページ)を変更する場合は、ここで変更してください。

■ ご注意

用件が録音されていないファイルを選んだときは、1ファイル保存できません。

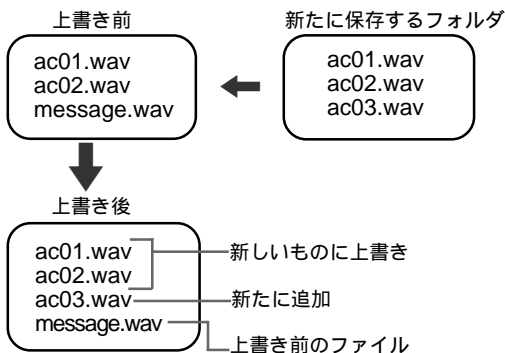
2 [保存]をクリックする。



すでに同じ名前のフォルダが保存されているときは「同じ名前のフォルダがあります。上書きしますか?」と表示されます。上書きするときは[はい]を、フォルダ名を変更するときは[いいえ]をクリックしてください。

フォルダを上書きすると

そのフォルダ内の用件が同じファイル名の場合は、上書きされますが、ファイル名が異なる場合は残ります。



■ ご注意

用件の内容が違っていても、ファイル名が同じ場合は上書きされてしまいますので、ご注意ください。

用件をwavファイルとしてパソコンに保存する(つづき)

全ファイル保存

ACTION, SCHEDULE, MEMO-1, MEMO-2, SECRETの5つのファイル内の用件をすべて一度に保存できます。5つのフォルダを持つ1つの大きなフォルダとして保存されます。

1 [全ファイル保存]をクリックする。



次のダイアログボックスが表示されます。



保存する場所、フォルダ名(26ページ)を変更する場合は、ここで変更してください。

2 [保存]をクリックする。



すでに同じ名前のフォルダが保存されているときは

「同じ名前のフォルダがあります。上書きしますか?」と表示されます。

上書きするときは[はい]を、フォルダ名を変更するときは[いいえ]をクリックしてください。

(次ページへ続く)

操作

用件をwavファイルとしてパソコンに保存する(つづき)

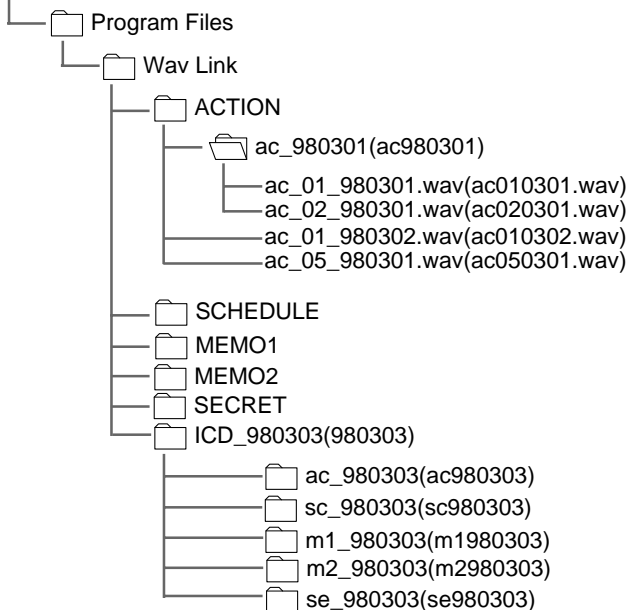
保存される場所とファイル名、フォルダ名について

用件には、以下のようなファイル名、フォルダ名が自動的につけられ、保存されます。(以下は一例です。)

Windows95の場合

[Windows3.1の場合は、Program Filesはありません。また、各ファイル名、フォルダ名は、()内のようにになります。]

(C:)ドライブ



- Wav Link、ACTION、SCHEDULE、MEMO1、MEMO2、SECRETのフォルダは、本ソフトウェアをインストールすると自動的に作成されます。
- 1件保存をした用件は、上記の各フォルダに保存されます
- 1ファイル、または全ファイル保存をすると、新たにフォルダが作成されます。

1件保存した用件につくファイル名

ac_01_980301.wav(Windows3.1の場合はac010301.wav)

録音年月日(Window3.1の場合は録音月日)
用件番号

ICレコーダー上で録音されているファイルの名前

ac:ACTION(アクション)ファイル
sc:SCHEDULE(スケジュール)ファイル
m1:MEMO-1(メモ1)ファイル
m2:MEMO-2(メモ2)ファイル
se:SECRET(シークレット)ファイル

1ファイル保存した用件につくフォルダ名

ac_980301(Windows3.1の場合はac980301)

フォルダの保存年月日
ICレコーダー上で録音されているファイルの名前

フォルダ内の各用件には、1件保存と同様のファイル名がつけます。

全ファイル保存した用件につくフォルダ名

ICD_980303(Windows3.1の場合は980303)

フォルダの保存年月日

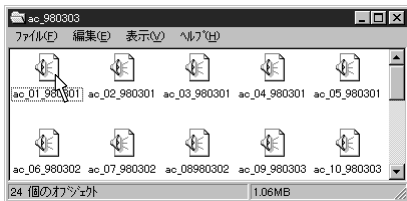
フォルダ内の各ファイルには、1ファイル保存と同様のフォルダ名が、各用件には1件保存と同様のファイル名がつけます。

パソコンに保存した用件の活用

パソコン上で再生する

保存した用件は、Windowsに搭載されているサウンドレコーダーなどのwavファイルを再生できるアプリケーションを使って再生することができます。

聞きたい用件のファイルをダブルクリックします。



用件が保存されている場所については、26ページをご覧ください。

■ ご注意

サウンドレコーダーがインストールされていない場合は、お手持ちのWindows95または3.1からサウンドレコーダーのインストールをしてください。

その他の便利な使いかた

• E-mailに添付する

お使いのE-mailソフトの「書類の添付」などの機能を使えば、用件をE-mailに添付して送ることができます。なお、受け取る相手もwavファイルを再生できるアプリケーションを持っているか確認してください。また、添付するファイルのデータ量にご注意ください。(SPモード16分の音声データで、約8MBになります。)

• 用件の入っているフォルダに簡単にアクセスするには

Wav Linkフォルダや、特によく使うフォルダのショートカットを作成して、デスクトップに置いておくと、簡単に探すことができます。

▶その他

故障かな？

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ICレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因/対策
インストールできない。	•ハードディスクの空き容量が少ない。 容量を確認してください。
「未接続」の文字が点滅しICレコーダーに録音した用件が読み込めない。	•接続ケーブルがはずれている。 接続を確かめてください。
[通信エラー]のメッセージが表示される。	•通信中、接続ケーブルがはずれた。 接続を確かめてください。 通信を続けるには、接続を確かめてから [はい]を押してください。 なお、ICレコーダーのアラームが鳴っている場合は、アラーム再生が終わってからケーブルを接続してください。
保存したwavファイルをクリックしても音が聞こえない。	•wavファイルを再生できるアプリケーションがインストールされていない。 サウンドレコーダーなどをインストールしてください(28ページ参照)。 •サウンドボードがついていない(5ページ参照)。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	•他にインストールされているドライバおよびアプリケーションとのコンフリクトの可能性 がある。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではWindows用パソコン接続キットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：ICKIT-W1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- ご使用の環境：
 - ご使用パソコンの機種名
 - メモリー容量
 - ハードディスクなどの容量

索引

ア行

アラーム再生	19
アプリケーションの追加と削除	10
アンインストール	10
1件保存	20
1ファイル保存	22
インストール	7

カ行

起動する	13
コントロールパネル	10

サ行

再生(用件の)	17, 28
再接続	16
シークレット	
ファイル	17
設定の解除	15
重要マーク	18
順番を並び替える	18
接続	

(ICレコーダーとパソコンの) ..	12
[接続]ボタン	15
セットアップ	9
全ファイル保存	24
操作の流れ	6

タ行

追加と削除	10
通信エラー	29
転送([データ転送中]) ..	21, 23, 25

ハ行

ファイル	16
ファイル名	26
ファイルマネジャー	7
フォルダ名	26
プログラムマネジャー	13
ホールド	14
保存	20
保存年月日	27

マ行

マイコンピュータ	7
未接続	15

ヤ行

用件一覧画面	16
--------------	----

ラ行

録音年月日	27
-------------	----

アルファベット順

ac, ACTION	16, 27
DIGITAL I/O	12
m1, MEMO-1	16, 27
m2, MEMO-2	16, 27
Program Files	26
sc, SCHEDULE	16, 27
se, SECRET	16, 27
setup.exe	7
Wav Link	
アイコン	13
フォルダ	26
wav形式	20
wavファイル	5, 28

使いかたのご相談は
カスタマーサポートラインへ

Tel: 03-5350-0587

Fax: 03-5350-6496

受付時間(月～金) 午前10時～午後5時
(年末年始、祝日を除く)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan